

広報 えびな

世帯と人口
 (平成7年5月1日)
 世帯 39,968 (+256)
 人口 113,319人 (+288)
 男 58,520人 女 54,799人

編集・発行
 海老名市役所秘書広報課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬175
 ☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



若アユおどる季節

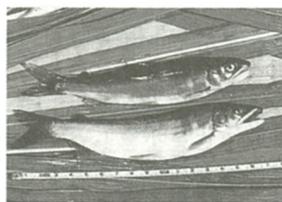
今月1日、アユ漁の解禁日。相模川が太公望たちでにぎわう季節の到来です。今年も天然アユの自然そが好調で、アユ釣りファンには実りの多い年になりそうです。マナーを守り楽しい川辺でのひとときをお過ごしください。

天然250万匹を確認

相模川漁業協同組合では、今年も350万匹の稚アユ(人口産・海産・琵琶湖産・その他湖産)を放流する予定です。今年も気温と水温の条件がよかつたため、天然アユのそが3月から4月にかけて多い日で250万匹確認されており、豊漁が期待できそうです。

また、(財)神奈川県内水面漁業振興会では、アユの移動状況や成長度などを調べるため、今年も背ビレにビニール製のリボンをつけた「標識アユ」を3千匹放流しました。

放流標識アユは、人工産(黄色のリボン、海産(青色のリボン)、琵琶湖産(緑色のリボン)、それぞれ千匹ずつ、標識アユは色別に1から千までの番号を記入した3センチほどの細いビニール・リボンで、5月22日に取り付け、5月23日に相模川水系25カ所の地点で放流しました。この標識アユを釣った方は、相模川漁業協同組合連合会(菊池光男会長理事、厚木市三田1928、☎418403)か釣り具店に用意してある報告書に、釣った日や場所を記入して提出してください。記念品の贈呈を予定しています。アユ釣りの遊漁券の価格などは、2ページ掲載。



試し釣りでは17cmのアユが... (5月19日)

河原で孫と一緒に

「私が子供の頃は、アユ解禁の頃が養蚕の忙しい時期で、両親が学校から帰って来るのを待ちかまえて、早くアユ釣りに行きたいのを我慢し、桑切りを手伝ったものです。そして、終わると一目散に自分で作った竹竿を持って河原に行きました」と話すのは、田口清春さん(河原口、67歳)。

今日は、近くに住む孫の幸隆君(5歳)と一緒に、田口さんが子供の頃の一番の遊び場所という河原にやって来ました。釣り好きの幸隆君に「アユは、首に敏感だから、おもしろい静かに落とさないといね。切れた釣り糸やこみは持ち帰って、きれいな河原で気持ちよく釣りをしようね」と、さっそく釣り糸を勢いよく川に投げ入れました。

写真は、田口清春さん(左)と孫の幸隆君(相模川で)。



5月2日(火)有馬図書館開館日1番目の来館者、松本正志さん(門沢橋在住 写真右)。松本さんは「南部地区に、念願の図書館が出来て大変うれしいです。今までは、本館まで自動車で行っていましたが、これからは、歩いて行くことができます。有馬図書館の雰囲気は、天井が高く明るくていいですね」と話してくれました。



5月2日から5日まで、開館記念行事として「おはなし会」「映画会」が行われました。おはなし会(写真)では、おはなし、絵本、紙芝居などが行われ、幼稚園や小学生の子供たちで大盛況。参加した子供たちからは「おもしろいから毎日来たいです」「記念行事ではなくて、毎日やってほしいのになぁ…」など好評で、映画会、おはなし会合計で400人の参加者でにぎわいました。

2週間で3千人が来館

～3万冊蔵書の有馬図書館～



開館 平成七年五月一日
海老名市立有馬図書館

一目でわかる太陽光発電
5月2日(火)に、市内2館目の図書館になる、有馬図書館(門沢橋通り1)が開館し、午前9時に、門沢橋に住む青木千春さん、拓也ちゃんの親子と、鈴木生蓮学習部長がテープカットを行いました。
有馬図書館は、開館時に3万冊(一般図書1万9千冊、児童図書1万冊、参考図書千冊)の蔵書があり、最終的には5万冊にする予定です。

有馬図書館と併設の門沢橋コミセンは、市内初の太陽光発電設備のある建物で、屋上にある太陽電池パネルが、太陽光により発電され、照明や冷暖房設備の電力の一部として利用されます。現在の発電電力と、今日の発電量が一目でわかる、表示パネルを設置しています。

来館お待ちしております
開館してから2週間で、3千人以上の方が訪れ、新しく貸出券を発行した方も20人以上になりました。
有馬図書館では、たくさんの方に来館していただくために、定例のおはなし会などの他に、今後いろいろ企画を考えています。

夢を追



公園、空き地など安全な場所に止まります(上今泉第2児童遊園)

巡回は、運転手さんと、図書館職員が1、2人で行います。では、職員の話も交えながら、出発してみよう。
「出発前に、文庫の本を入れ替える作業をします。図書館には、自動車文庫用の本が約5万冊あるんです。その中から、これから行く場所で読まれるような本を選びます。」

巡回へ出発
巡回は、運転手さんと、図書館職員が1、2人で行います。では、職員の話も交えながら、出発してみよう。
「出発前に、文庫の本を入れ替える作業をします。図書館には、自動車文庫用の本が約5万冊あるんです。その中から、これから行く場所で読まれるような本を選びます。」

巡回へ出発
巡回は、運転手さんと、図書館職員が1、2人で行います。では、職員の話も交えながら、出発してみよう。
「出発前に、文庫の本を入れ替える作業をします。図書館には、自動車文庫用の本が約5万冊あるんです。その中から、これから行く場所で読まれるような本を選びます。」

巡る“自動車文庫”



児童遊園

市内17カ所を巡回します
「自動車文庫は、毎回楽しみですね。今回はどんな本があるのかな」とつい終り時間まで探してしまいます。「ここに来る人は、顔見知りの人が多いので、つい世間話し夢中になつてしまつたりもします。」など常連の方もいます。今回も終了時間近くにはあちこちから話に花が咲いていました。図書館職員も「みなさん本当に本を読むのが好きで、やさしい心を持った方が多いですね。子供がひどく重い本を返して来ると、本を探していた人が手伝ってくれたり、たまに貸出用のバーコードの機械が故障してしまつた時には、文句ひとつ言わずに待っていてくれたり、急に雨が降ってきて、終つたばかりなのに頭が濡れてしまつたりして、頭が下がる思いですね。」

巡回へ出発
巡回は、運転手さんと、図書館職員が1、2人で行います。では、職員の話も交えながら、出発してみよう。
「出発前に、文庫の本を入れ替える作業をします。図書館には、自動車文庫用の本が約5万冊あるんです。その中から、これから行く場所で読まれるような本を選びます。」



相模大塚駅

この写真は、昭和15年ごろの相模大塚駅を撮影したものです。現在の相模大塚駅は、現在、さがみ野駅に、昭和50年開業。この写真は、昭和15年ごろの相模大塚駅を撮影したものです。現在の相模大塚駅は、現在、さがみ野駅に、昭和50年開業。

海老名タイムトンネル

写真が語る郷土の歴史
駅の周りは一面の畑
このコーナーでは、市内に残る古い写真を紹介し、風景や風俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は市史編さん室(内291)へご連絡を。

第16回市総合体育大会

第16回海老名市総合体育大会が、左表の日程で開催されます。各競技の参加資格は、市内に居住、通勤されている方で、申し込みは各協会となります。

競技種目	開催日	会場
ソフトボール	7月22・23日	上原スポーツ広場
バレーボール	7月25日	総合体育館
水泳	7月25日	運動公園屋内プール
空手	7月26日	総合体育館
バスケットボール	8月13・20日	総合体育館
ソフトテニス	7月22・23日	上原スポーツ広場
卓球	7月22・23日	総合体育館
バドミントン	7月16日	総合体育館
柔道	7月16日	総合体育館
少林寺拳法	7月16日	総合体育館
ラケットボール	7月25日	総合体育館
フットサル	7月25日	総合体育館
テニス	7月25日	総合体育館
ゴルフ	7月25日	総合体育館
自転車	7月25日	総合体育館
射撃	7月25日	総合体育館
剣道	7月25日	総合体育館
柔道	7月25日	総合体育館
少林寺拳法	7月25日	総合体育館
ラケットボール	7月25日	総合体育館
フットサル	7月25日	総合体育館
テニス	7月25日	総合体育館
ゴルフ	7月25日	総合体育館
自転車	7月25日	総合体育館
射撃	7月25日	総合体育館
剣道	7月25日	総合体育館
柔道	7月25日	総合体育館
少林寺拳法	7月25日	総合体育館
ラケットボール	7月25日	総合体育館
フットサル	7月25日	総合体育館
テニス	7月25日	総合体育館
ゴルフ	7月25日	総合体育館
自転車	7月25日	総合体育館
射撃	7月25日	総合体育館
剣道	7月25日	総合体育館
柔道	7月25日	総合体育館
少林寺拳法	7月25日	総合体育館

おぼた じゅんや
小幡 純也くん | 歳1カ月



こんにちは、手足むつちりのじゅんやです。力持ちの僕は、お誕生日に、一升もちを背負ってちゃんと歩けたんだよ。それに僕は早起きで、いつもみんなのふとんの上のったり、髪の毛をひっぱったりして、みんなを起こしちゃうんだ。(国分北、小幡康幸・悦子さんの長男)

猪熊ひかるちゃん | 歳1カ月



はじめまして、ひかるです。お外が大好きで、泥んこになって遊んでいます。あと、絵本を見るのも好きなの。まだ、ハイハイの方が得意なんだけど、早く歩きたいなあ、と思っているこのころです。(本郷、猪熊九一・ひろみさんの長女)

まんきる赤ちゃん



▲ 少年少女スポーツ大会真つ盛り

今年をはじめ種目に加わったバスケットボールが5月7日行われた。中学年から高学年まで200人のちびっ子たちが熱気に満ちたプレーを繰り広げた。観客席からもお父さんやお母さんの大きな声援が飛んでいた。

フオドピツクス

海老名ふるさと再発見、をテーマに、今年で5回目を迎えた「楽しさいっぱい、夢いっぱい、ふれあいスタンプラリー」が5月7日、社家・上海内地区などを回る約1時間30分のコースで行われた。親子で、家族で、さとの自然の中をのびのびと旅を楽しんだ。



▲ 五月晴れのもと千500人参加



▶ 心地好い汗で楽しい一日

5月5日、こどもの日、家族や友だちとのコミュニケーションの場として海老名運動公園の体育館とプール、陸上競技場が開放された。プールでは夏に先駆けて親子の笑顔と水しぶきがいつぱいだった。



▲ 姉妹都市の白石城が完成

かねてより復元が進められていた白石城が完成し、5月2日落成式が行われた。海老名市からは亀井教育長、柳田市議会議長、吉岡交流協会会長が出席。お祝いとして、市からは「飾り扇面額」が、市議会からは「相模だこ」が贈られた。



アユがつなぐ 相模川他和会 ボランティアの和

老人ホーム中心荘へアユ料理をプレゼント (去年8月)



「他人同士が楽しく釣りをしよう、が、この会のテーマなんです」と話すのは、相模川他和会(さがみがわなかよしかい)の原庄之輔会長(中新田在住56歳)。相模川他和会は、アユ釣りが大好きな人たちが集まって、6年前に結成されたもので、現在は30〜60歳代の、塗装業、大工、会社員、警察官などさまざまな職業の会員が25人いる。この会では、みんなで集まって釣りに行くことは、ほとんどないと言ふ。その理由は、会員がそれぞれに好む場所があり、自分の場所が一番釣れると思っているからだそうだ。会員が全員集まるのは、毎月第3日曜の午後に行っている相模川の清掃と、年数回行っている、ボランティア活動の時などだ。このボランティア活動は、老人ホームや幼稚園などに、自分たちが釣ったアユ2〜3千匹を、塩焼き・田菜・お吸物・アユ飯などにして味わってもらおうと、2年前から行っているもので、お年寄りや園児に大好評で、今年も行う予定。

「毎年相模川で1匹1匹釣りで釣上げたアユを、何かの形で社会に奉仕できないか」と思い、老人ホームなどへのアユ料理のプレゼントを始めた」とボランティアを始めたさかきを語ってくれた。「会員たちは6月、10月と12月の解禁期間で釣ったアユを、ほとんど自分で食べません。釣りをしている、自分で食べたいと思っ釣つていても、なかなか釣れないものだから、ボランティアの気持ちで釣つて、何か魚のほうから寄ってくるような気がしません。また今年も6月の解禁日からたくさん釣って、1人でも多くの人に、おいしいアユを食べてもらいたいですね」と話してくれた。会長はじめ会員たちは、釣り名人が多く解禁期間に数千匹を釣つてしまうほどの腕前だが、海老名に住んでいる会員たちは平日しか釣れないという。休日、遠くから何時間もかけて相模川に釣りに来る人たちに譲っている。こんなにすばらしい気持ちがあれば、今年も大漁だろう。

